

大きな企業だけが
儲かっても
賃金は上がらず

総額
7.3兆円

京都府の
平均年収

-55万円

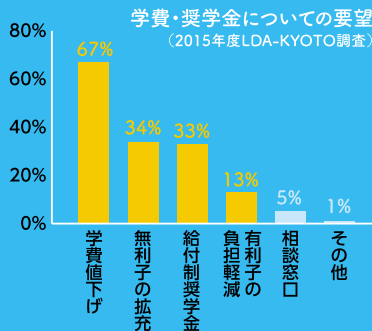
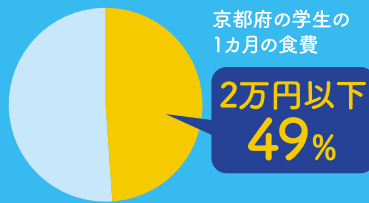
1997 2015



- ➔ **ブラックな働き方規制条例**をつくり、元気に働くことのできる京都をつくる
- ➔ 府の事業は**時給1500円以上**を徹底し、稼いだ分は還元させる仕組みをつくる
- ➔ 府の事業は**地元の企業を優先**させ、地元で人、モノ、金を回す
- ➔ **中小企業基本条例**で、すべての中小企業を応援。**企業も働く人も収入アップ**で、府の税収を増やす

「学びたい」を応援する 学費無償化、給付奨学金の創設

学費高すぎて
生活がツライ



2人に1人
奨学金を
借りている



学費値下げはグローバルスタンダード
お金の心配なく学べる京都へ!

- ➔ 高校の**学費は、段階的無償化をめざし**、通学補助を拡充する
- ➔ 国に対し、高等教育の無償化や私立大学への助成増額を求める。当面、京都府として**府立大学、府立医科大学の学費の無償化をめざす**
- ➔ 京都

京都府知事選
3.22~4.8

みんなを決める みんなの京都



ふくやまかずひと
福山和人

さんが
呼びかけ

「京都府民でよかった」実感できる府政に

働く人たちの解雇・ハラスメント・残業代不払い…
個々の事件を解決しても、それは対症療法にすぎません
京都府の果たす役割には大きなものがあります
京都府民でいてよかった
府民の皆さんにそんな風にも実感してもらえる府政を実現したい
弁護士として培ってきた知識と経験をいかして
府民の皆さんとともに「つなぐ京都」をめざしたい

——福山和人さんは呼びかけています

1961年3月5日伏見区生まれ。57歳。家族は妻と長女、長男、母。宇治市立西大久保小学校、西宇治中学校、京都府立城南高校、立命館大学法学部卒業。1999年司法試験合格、2001年弁護士登録、2015年度京都弁護士会副会長



市民参加の選挙にチャレンジ

2015年、福山和人さんが京都弁護士会副会長を務めていたとき、安保法制が国民的議論となり、立憲主義を守るための集会などが開かれました。そこで培われたつながりをもとに、市民の皆さんと政党が手をつなぎ、福山和人さんを押し上げる「つなぐ京都」が生まれました。

みんなが参加する、みんなの京都、みんなの力をあわせてつくみましょう。

つなぐ京都

つなぐ京都 発行 / 2018年3月22日 No.1382 つなぐ京都は上記の呼びかけと政策を発表しましたので紹介します。
〒604-8383 京都市中京区西ノ京小堀町2-4 TEL/075-823-8101 FAX/075-823-8102